【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【公表番号】特表2006-518047(P2006-518047A)
【公表日】平成18年8月3日(2006.8.3)
【年通号数】公開・登録公報2006-030
【出願番号】特願2006-501348(P2006-501348)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｃ　5/16　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　5/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｃ　5/16
Ｇ０２Ｃ　5/14

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月31日(2007.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１対の取外し式のテンプルと、１対のテンプル取付部を備えるレンズフレームを有するアイウェアであって、
各テンプル取付部は、枢回軸線を中心として枢回運動可能に前記レンズフレームに枢着されており、
前記テンプルは、前記枢回軸線を中心として、前記レンズフレームの近くに位置する折畳み形態と前記レンズフレームから突き出る使用形態との間を枢回し、
各取付部は、ソケット及びクリップ開口を提供するフレームクリップ部を有しており、
前記テンプルは、テンプルクリップ部を備える先端部を有しており、
各テンプルの前記テンプルクリップ部は、前記テンプルを前記フレームに取外し自在に取り付けるために前記ソケット内に取外し自在に係合するよう構成されており、
前記テンプルクリップ部は、前記取付部の前記開口内に係合する弾性変形可能なつめを有するバイオネットを含み、
前記つめは、ユーザーが前記つめを弾性的に変形させて前記つめを前記取付部の中に押し下げて前記テンプルの取外しを可能とするように、前記テンプルに対して略直角であり且つ前記枢回軸線に対して略直角である変形軸線を中心として弾性変形し、
各フレームクリップ部は関連の開口へと延びるスロットを含み、
各つめは、関連のスロットを通る突起部を含み、前記突起部は，ユーザが前記つめを押し下げて、前記ソケット内から前記バイオネットを離脱させるように前記つめを操作するのを助けるアイウェア。
【請求項２】
各バイオネットは、前記テンプルに対して略平行であり且つ前記変形軸線及び前記枢回軸線に対して略直角である所定方向への運動により、前記関連ソケットに挿入可能である請求項１に記載のアイウェア。
【請求項３】
各つめは、前記開口内に受け入れられると共に、前記テンプルを前記レンズフレームに固定すべく前記フレームクリップ部に係合する当接面を有しており、前記当接面は前記所

定方向とは反対の方向に面している請求項２に記載のアイウェア。
【請求項４】
各当接面は、前記つめを前記取付部の中に押し下げることにより、関連のフレームクリップ部との係合から取り外される請求項３に記載のアイウェア。
【請求項５】
各突起部の幅は、各当接面の幅より小さい請求項４に記載のアイウェア。
【請求項６】
各テンプルは、前記スロット内に滑動自在に受け止められる隆起部を含む請求項５に記載のアイウェア。
【請求項７】
各フレームクリップ部は金属から形成されており、各テンプルクリップ部は弾性プラスチック材料から形成されている請求項６に記載のアイウェア。
【請求項８】
各テンプルクリップ部は、前記つめを変形させて各ソケットへ前記つめを挿入する傾斜面を含む請求項７に記載のアイウェア。